21027 社会福祉援助技術演習Ⅳ a、b Seminar in Social Welfare Aid Skills IV		3年次～ 後期 2単位																	
担当者	富樫 美奈子／山中 俊克	履修可能学科	W																
		関連資格	教職・社福士必（W）																
サブタイトル																			
授業内容 ・ ねらい	<p>[授業の目的・ねらい] 相談関連業務の具体的な理解と社会福祉援助技術の施行</p> <p>[授業全体の内容] 教材用に開発された相談関連技術の視覚教材や事例を活用して、相談援助場面における社会福祉援助技術の活用方法を体験的に学習する。現時点で修得している社会福祉援助技術を個々の学生なりに実践し、個別にスーパービジョンを活用することによって、専門性の習得度の自己覚知することを体験的に学習する。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 相談援助事例の理解①：講義</td> <td>9. 具体的な相談援助場面の理解⑤：事例(高齢2)</td> </tr> <tr> <td>2. 相談援助事例の理解②：視覚教材による間接体験</td> <td>10. 具体的な相談援助場面の理解⑥：ケアプラン</td> </tr> <tr> <td>3. 相談援助事例の理解③：グループ学習</td> <td>11. 具体的な相談援助場面の理解⑦：事例(身体)</td> </tr> <tr> <td>4. 相談援助事例の理解④：スーパービジョン</td> <td>12. 具体的な相談援助場面の理解⑧：事例(知的)</td> </tr> <tr> <td>5. 具体的な相談援助場面の理解①：事例(児童領域)</td> <td>13. 具体的な相談援助場面の理解⑨：事例(精神)</td> </tr> <tr> <td>6. 具体的な相談援助場面の理解②：事例(家族)</td> <td>14. 具体的な相談援助場面の理解⑩：自立支援法</td> </tr> <tr> <td>7. 具体的な相談援助場面の理解③：F,SWの機能</td> <td>15. 相談援助における社会福祉援助技術の活用</td> </tr> <tr> <td>8. 具体的な相談援助場面の理解④：事例(高齢1)</td> <td></td> </tr> </table>			1. 相談援助事例の理解①：講義	9. 具体的な相談援助場面の理解⑤：事例(高齢2)	2. 相談援助事例の理解②：視覚教材による間接体験	10. 具体的な相談援助場面の理解⑥：ケアプラン	3. 相談援助事例の理解③：グループ学習	11. 具体的な相談援助場面の理解⑦：事例(身体)	4. 相談援助事例の理解④：スーパービジョン	12. 具体的な相談援助場面の理解⑧：事例(知的)	5. 具体的な相談援助場面の理解①：事例(児童領域)	13. 具体的な相談援助場面の理解⑨：事例(精神)	6. 具体的な相談援助場面の理解②：事例(家族)	14. 具体的な相談援助場面の理解⑩：自立支援法	7. 具体的な相談援助場面の理解③：F,SWの機能	15. 相談援助における社会福祉援助技術の活用	8. 具体的な相談援助場面の理解④：事例(高齢1)	
1. 相談援助事例の理解①：講義	9. 具体的な相談援助場面の理解⑤：事例(高齢2)																		
2. 相談援助事例の理解②：視覚教材による間接体験	10. 具体的な相談援助場面の理解⑥：ケアプラン																		
3. 相談援助事例の理解③：グループ学習	11. 具体的な相談援助場面の理解⑦：事例(身体)																		
4. 相談援助事例の理解④：スーパービジョン	12. 具体的な相談援助場面の理解⑧：事例(知的)																		
5. 具体的な相談援助場面の理解①：事例(児童領域)	13. 具体的な相談援助場面の理解⑨：事例(精神)																		
6. 具体的な相談援助場面の理解②：事例(家族)	14. 具体的な相談援助場面の理解⑩：自立支援法																		
7. 具体的な相談援助場面の理解③：F,SWの機能	15. 相談援助における社会福祉援助技術の活用																		
8. 具体的な相談援助場面の理解④：事例(高齢1)																			
教科書 参考書	授業時に随時指定。																		
評価方法	出席状況や学習への参加状況、および、提出レポートなどを総合的に評価する。																		
事前準備学習 履修条件等	後期が始まる時点で社会福祉援助技術演習Ⅲが単位取得済であること。4月の履修時点では、前期に社会福祉援助技術演習Ⅲを取得見込みでもかまわない。																		